



国道56号沿いの下呉地から県道作屋影野(停)線に入ると魚ノ川はある。入口が下呉地で、中の集落は魚ノ川。さらに奥呉地と一谷で、三集落の続く地区。中呉地としてもよさそうなものだが、「サカナの川」と書く。明治4年、廃藩置県を施行した時に出てくる文字は「魚野川」。明治22年からの新しい町村が編成された時は「魚川村」とある。山の上から見たら魚に見えたから、魚ノ川になったと聞いたことがある」と地元の人はず。何とか上空から確かめてみたいものだ。魚ノ川には植物にちなんだ小字が多い。笹の川、茶引淵など、10いくつもある。



笹の越トンネル

魚ノ川に行ったら「これだけ見えて帰ってください」と言いたい巨樹がある。「仁井田のヒロハチシャノキ」だ。国指定天然記念物で、樹齢約700年以上、九州大宰府のチシャノキと共に日本の巨樹であり、実に堂々たる物である。時期的に今は葉が無いが、柿に似た葉をつける。別名「乳もらい木」とも言い、なるほど幹からは数房オツパイが垂れている。そのチシャノキの周辺は花見の名所となっており、ソメイヨシノを数えてみれば約70本の桜が咲くようだ。シーズンには雪洞提灯が灯り、情緒をかもし出している。

現在、笹の越の県道は四国の道と位置付けられており、影野から高岡神社を経て窪川駅に至るルートは「五社の道」という名称で、歩きファンを増やしている。魚ノ川地区は25世帯の里。氏神様の境内には譲葉の原木がある。譲るは絆。猪欄に囲まれた農地では、秋の収穫を夢見て土作りが行われていた。



乳もらい木

町のうごき	2月29日)		前月比		出生		死亡		転入		転出	
	男	女	計	世帯数	男	女	計	男	女	計	男	女
	9,132	10,208	19,340	8,769	2	3	5	23	11	34	19	18
	-15	0	-15	-6								
	2月中の届出)											

四万十川の 水質状況	適正值(mg/L)		2月16日	
	リン酸	硝酸	アンモニウム	アニオン活性剤
	5.0	0.5	5.0	1.0
	測定値以下	1.118	測定値以下	0.650
			化学的酸素消費量	10.0
				2.163

調査：大正(吾川)
資料：四万十高校自然環境部

四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>
 広報『四万十町通信』はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)